

授業科目	事例研究（障がい者心理） Case Study (Disabled Persons Psychology)			担当教員	柳 智盛		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>本事例研究（障がい者心理）では、今日の社会において「障がい」を持つ方々を取り巻く様々な問題を考えていく際、「障がい児・者のこころ」に影響を与える様々な要因について心理学という視点を用いた研究の必要性について考えていく。具体的には、事例を通して「障がい」に対する今日の社会のとらえ方・理解が当事者の「こころや行動」にどのような影響を与えているのか、また、当事者自身においては「障がい受容」の仕方やそのプロセスが「こころや行動」にどのように影響しているのかを理解した上で、「障がい」を持つ方々のウェルビーイング実現に向けた心理的アプローチの方法と課題について考えていく。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法		評価比率	
関心・意欲 ・態度	社会の「障がい」に対する理解と障がい児・者のこころや行動の働きに対する理解の必要性を認識できる。			・授業態度及び参加度		20%	
思考・判断	「障がい」のとらえ方と「障がい受容」が与える影響について、自身の考え方を論理的に展開可能な能力を身につけることができる。			・課題発表での質疑応答		20%	
技能・表現	事例論文で用いられている「障がい児・者」の心理的影響について正確に説明できる。			・課題発表内容 ・課題発表での質疑応答		20% 10%	
知識・理解	障がい児・者の置かれた状況や支援のあり方について理解し、正確に説明できる。			・課題発表内容 ・課題発表での質疑応答		20% 10%	
出席							受験要件
合計							100%
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>講義時には、割り当てられた課題発表内容の評価を40%とし、その課題発表での質疑応答の受け答えに対する評価を40%とする。また、授業態度及び参加度において講義内容に対する関心・意欲・態度などを20%とし、課題発表等もあわせて総合的に評価する。</p>							
授業の概要							
<p>本事例研究では、「障がい児・者」の心理的影響に関連する文献・事例論文を中心に取り上げ、以下の4つの視点を中心に討議を展開していく。</p> <p>①今日の社会における「障がい」のとらえ方（概念と障がい観）  ②当事者の「障がい」のとらえ方と「障がい受容」  ③当事者家族の「障がい」のとらえ方と「障がい受容」  ④「①～③」が当事者の「こころと行動」に及ぼす影響</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない。毎回の授業で使用するプリントを配布する。  参考書：適宜参考書及び文献を紹介する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>現代社会における障がい児・者と関わるトピックや研究同行に関心を持ち、それに対する社会福祉の専門家として自身の考え方をしっかり持って欲しい。さらに、障がい児・者の立場になってその「こころ」を理解しようとする姿勢を持って臨んで欲しい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	講義の概要を説明し、講義のスケジュールを確認する。課題発表のスケジュールと用いるテーマ・文献を決定する。	復習：関心テーマ・文献を考える。
2	障がいのとらえ方①	今日の社会における「障がい」のとらえ方、社会の障がい概念や障がい観に関連する文献・事例論文	予習：障がい概念に関する論文を事前購読する。 復習：本講義を振り返り。
3	障がいのとらえ方②	今日の社会における「障がい」のとらえ方、社会の障がい概念や障がい観に関連する文献・事例論文	予習：障がい概念に関する論文を事前購読する。 復習：本講義を振り返り。
4	障がいのとらえ方③	今日の社会における「障がい」のとらえ方、社会の障がい概念や障がい観に関連する文献・事例論文	予習：障がい概念に関する論文を事前購読する。 復習：本講義を振り返り。
5	当事者の障がいのとらえ方①	障がいを持つ当事者における「障がい」のとらえ方が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：障がい児者の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
6	当事者の障がいのとらえ方②	障がいを持つ当事者における「障がい」のとらえ方が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：障がい児者の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
7	当事者の障がいのとらえ方③	障がいを持つ当事者における「障がい受容」が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：障がい児者の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
8	当事者の障がいのとらえ方④	障がいを持つ当事者における「障がい受容」が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：障がい児者の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
9	当事者家族の障がいのとらえ方①	当事者家族における「障がい」のとらえ方が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：当事者家族の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
10	当事者家族の障がいのとらえ方②	当事者家族における「障がい受容」が「ところや行動」に及ぼす影響に関連する文献・事例研究	予習：当事者家族の心理について考える。 復習：本講義を振り返り。
11	心理的アプローチ①	障がい児・者に対するウェルビーイング実現に向けた心理的アプローチに関連する文献・事例研究	予習：心理的アプローチについて調べる。 復習：本講義を振り返り。
12	心理的アプローチ②	障がい特性に合わせた心理的アプローチに関連する文献・事例研究	予習：障がい特性とそれに対するアプローチを考える。 復習：本講義を振り返り。
13	心理的アプローチ③	「障害者総合支援法」「障害者差別解消法」といった制度と心理的アプローチとの関連性のある文献・事例研究	予習：障がい者関連法律を調べる。 復習：本講義を振り返り。
14	心理的アプローチ④	当事者の家族への心理的アプローチと地域におけるサポート体制に関連する文献・事例研究	予習：地域の障がい者について考える。 復習：本講義を振り返り。
15	まとめ	「障がい」という概念と障がいのある人の心理を中心に本講義全体の総括を行う。	予習：講義全体について整理する。 復習：講義全体の振り返り。